

目標達成計画

作成日: 令和元年9月29日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	グループホームと隣接する地域密着型特養とで共有する理念になる予定であるが、光喜園のケアの方針を明確にしていた方が良い。	喜寿園と合同の理念を柱とした中で、理念に沿った光喜園独自の目標を決めていく	理念が確立したら、その他でも特に力を入れた部分を各ユニットで出して、グループホーム運営に沿った目標にして活動していく	3ヶ月
4	49	ホームを囲む自然と福祉村の環境を生かした散歩や保育園児の散歩見学など、日々の変化を楽しむ支援にも期待したい	現在、月1回の園児の慰問や運動会の見学など少し距離がある接し方である為、保育園と話しを行ったうえで、光喜園から保育園に出向いていく事で、共生型の第一歩として動いていく	保育園の園長と話しを行い、午前中の子供たちが外で遊んでいる時間に訪問できるような体制を作り、自然な形でふれあいを構築していく、そこから合同行事などにつなげていく	3ヶ月
6	54	少なくともあったが、プライバシーに配慮する排泄用品収納の工夫の必要性が感じられる部屋も見られた。	トイレや、オムツを使用されている方の居室に置いてあるオムツを見えないような配慮を行っていく	居室で、ご利用者様自身が使われているオムツに対して、本人が混乱しない様にオムツの入れ物を紙袋に変えるなどで、対応する。トイレにある尿瓶などは、目隠しをするなどで対応していく	3ヶ月
					ヶ月
					ヶ月
					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。